

### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170501993		
法人名	有限会社 ライフアート		
事業所名	グループホーム福寿荘		
所在地	〒003-0834 札幌市白石区北郷4条12丁目3-35		
自己評価作成日	平成23年2月28日	評価結果市町村受理日	平成23年5月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域と協力し合い連携している。入居されている皆さんが安心して生活ができ、持っている力を発揮できるように支援し、サービスの質の向上に力を入れている

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://77.system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170501993&amp;SCD=320">http://77.system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170501993&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成23年3月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--	--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念として「安心して暮らせる社会作り」を掲げており、管理者と職員はその理念を共有し、開設より地域の方々との交流を図れるように取り組んでいる		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の催し物には、できるだけ地域の一員として参加している。また、地域の皆さんにも開設より時間をかけてご理解いただいております。行事に参加することを喜んでいただいております		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内での認知症についての講演や取り組みに参加させていただいております。また、常時何か相談があれば伺っている		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々にホームの状況をご理解いただき、ご協力をいただける体制を作っている。また、地域の方が困っていることや、認知症ケアに望むことなどをうかがう中で、ホームの生活やサービスについて振り返り、サービス向上に役立っている		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	率先して市との連携を図り、市全体の高齢者施策に対しての働きかけを、社長が行っている		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての認識を深め、具体的なケアの場面で行わないようにしている		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を作り、注意を払い、社内での研修で、虐待とはどういうものか、人権とは等を学び、日々努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要のある方には、制度の説明をし、ご活用いただけるように働きかけている。また、社内研修、外部研修を活かし知識を深め、より良い暮らしを送っていただけるよう取り組んでいる		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書で必ず説明をし、疑問点については、必ず解決できるよう対応している		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族に対しては随時、国保連で苦情を受けていることをお伝えしている。また、家族ノートという双方のコミュニケーションを図るために、来訪された際、お渡しし、意見・要望等ご記入いただくようお願いしている		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	できるだけ意見を聞いている。また、ユニット会議を定期的開催し、意見を出し合いホームの運営に反映させている		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、常に職員個々の努力や実績、勤務状況の把握に努め向上できるようにしている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人の力量に適した、法人内外の研修を受ける機会が確保されている。また、実践の中でトレーニングできるように進めている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	区の管理者連絡会を通じて、同業者と交流する機会が作られ、サービスの質を向上させる取り組みをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の様子や声に耳を傾けて、本人がどのようなことで困っているのか、要望はどのようなことかなど、確かめながら関係を作り、安心できるよう努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の段階で、ご家族と面談し、不安や今困っていること、また要望なども伺い、関係作りに努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご相談を受けた際に、現在どのようなサービスを受けているのか、どのような生活を送っておりどのような困難があるのかなどを伺っている。また、必要があれば、そのときに必要なサービスのアクセス方法をお伝えしている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、本人のそれまでの経験や、慣れている仕事、人生で培っていた知恵を教えていただいたり、感じながら互いに支え合い、暮らしを築いている		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人に対するご家族の想いを取り入れ教えてもらっている。また、ホームの行事や皆さんの暮らしを、ご家族にしかできないことがたくさんあるので、それをお伝えしながらご協力いただいている。様々な思いの中で、ここでの暮らしを支えてくださっていることを、十分に理解できるようお話を伺っている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人や親戚の方が来訪しやすいように、キーパーソンの方にも状況をお伝えし、連絡をしていただいたり、ご本人が連絡をとりたいと希望がある場合、キーパーソンの方ともご相談のもと、連絡を取ってもらっている。お本人が忘れてしまっている場合、親しかった方の写真を見てもらったり、エピソードなどをお伝えしている		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他者と係わり合いが持てるよう、同席してもらい、会話の仲介に入ったり何かの作業を共にしてもらおう中で、共感できるような場を作ったり同じような思い出を話し合えるよう触発している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要な方に関しては、積極的に行っている。また、退去の際には必ず情報提供を行い、十分な申し送りをを行い、本人のそれからの生活が困らぬよう取り組んでいる		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランを通して、アセスメントの見直しの際必ずご本人の意見を中心にまとめている。また、ご本人が具体的にいえない場合、ご家族から伺っている		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際必ずご家族からそれまでの情報を伺いまとめている。以前にサービスを受けている場合、サービス提供事業者から情報を得ている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝の申し送りの際、一人一人の状況を知り、一日のケアをすすめている。また、スタッフに周知徹底してもらいたい事項については、カンファレンスノート、スタッフノートに記載し、スタッフ全員が分かるようにしている		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的な会議を開きケアプランを見直している。また、職員それぞれの立場で、情報を収集し、ご本人、ご家族、職員とで、ケアプランを作っていくように、取り組んでいる		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録にその日の状況や気付きを記録し、次の支援や介護計画の見直しにつなげている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々の方の状況に応じて、グループホームが持つ力を総動員している。その方を十分に支援していくために必要な事柄をしっかりと、ご本人、ご家族とも、お互いに話し合い方向を決めている		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議より、地域の各町内の機関に働きかけたり、防災訓練を通して、消防とも連携し、ボランティアの方にも協力していただきながら、ご本人を支援している		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及び、ご家族の希望に沿いながら、納得していただいたかかりつけ医と、24時間いつでも対応してもらえるような体制を整えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常時、利用者の様子を報告し、相談したり手当てをすることを、速やかに行うことができている。また、かかりつけのクリニックの看護師も24時間で相談に応じてくれる体制があり、日常の変化や相談ごとにも応じてくれる		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	常時、情報交換をしており、連携を図っているため、速やかに対応している		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、終末期についてご家族及び本人と話し合いを持ち、ご本人、ご家族の意向を伺っている。状態に応じてその都度、話し合う機会を設けている。かかりつけ医とも、話し合いを常に設け、何が必要であるかを考え、取り組んでいる		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルに沿って、その場面、状況になったらどうするかを具体的に考えてケアを行っている		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内の方との関係は、日々の挨拶などにより馴染みのものとなってきている。運営推進会議に参加されている町内の役員の方をはじめ、ご近所の方にも災害時の協力を得られる体制が整えられている		
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に対して、尊厳の意を持ち、対応するように努めている		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人のしたいことができるようにカンファレンスを行い、ケアプランを通して実行できるように努めている。その中で、自分で決断したり、決定したりできるように言葉でのコミュニケーションが難しい方は観察を、コミュニケーションが取れる方には、話ができるような状況を作り、本人の思いを汲めるように工夫している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できるだけ本人の希望に沿うように努めている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	それぞれの好みに合った身だしなみやオシャレができるように取り組んでいる。具体的に、ご家族がご本人の過去の好みに応じた衣類の準備をしていただいたり、ご本人に選んでいただいで着用している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者同士の座席の工夫やそれぞれの今の食事の好みを反映した食事の提供を行い、みんなと一緒に食事を楽しめる環境を整えている。また、準備や片付けは本人ができることをできる範囲で行っている		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	特に必要な方には、具体的な食事内容・水分量を記録し、必要量が摂れるようにしている。一日トータルで、栄養が取れるようによやつなどにも配慮している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き、口腔清拭など、一人一人の状況に合わせて、清潔を保持している。義歯の適切な洗浄に努めている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	本人のパターンを掴み取り、できるだけ失敗のないようにしている		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便の確認、便秘のための服薬はもちろんのこと、食事内容や水分量、運動などの工夫を、生活の中で取り組んでいる		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	できるだけ本人の希望に沿い提供している。また、日数や体調をみて、入浴を行っている		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人のリズムを観察し、体調に応じて休息をとっている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬について理解している。また、変化があった際、主治医や看護師に連絡している		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	昔から慣れている作業を行ったり、それぞれの趣味を行ったり、ドライブに出かけたりなど、できるだけ本人の望みを具体化できるよう取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩やドライブなど、一人一人に合わせて出かけられるように支援している。家族とも協力をして、本人の希望に添えるように支援している		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望に応じて支援している		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望や今の状況からできること、分かることで判断し、通信ができるように支援している		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、季節に応じた飾りを飾ったり、一年を通して季節を感じられるような工夫をしている。また、過ごしやすいように刺激となるものの配慮をしている。(TVの音や、光、温度など)		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人一人が好まれる場所や過ごしやすい場所を、家具の配置やイスの位置によって工夫し提供している		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が今まで使っていた馴染みのある家具などを持ち込んで、以前暮らしていたときと同じような環境を保てるようにしている		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	適切な手すりの配置、段差と認識しやすい段差を設けた和室、幅の狭い廊下など、一人一人の身体能力が維持され、安全に過ごせるように工夫されている		